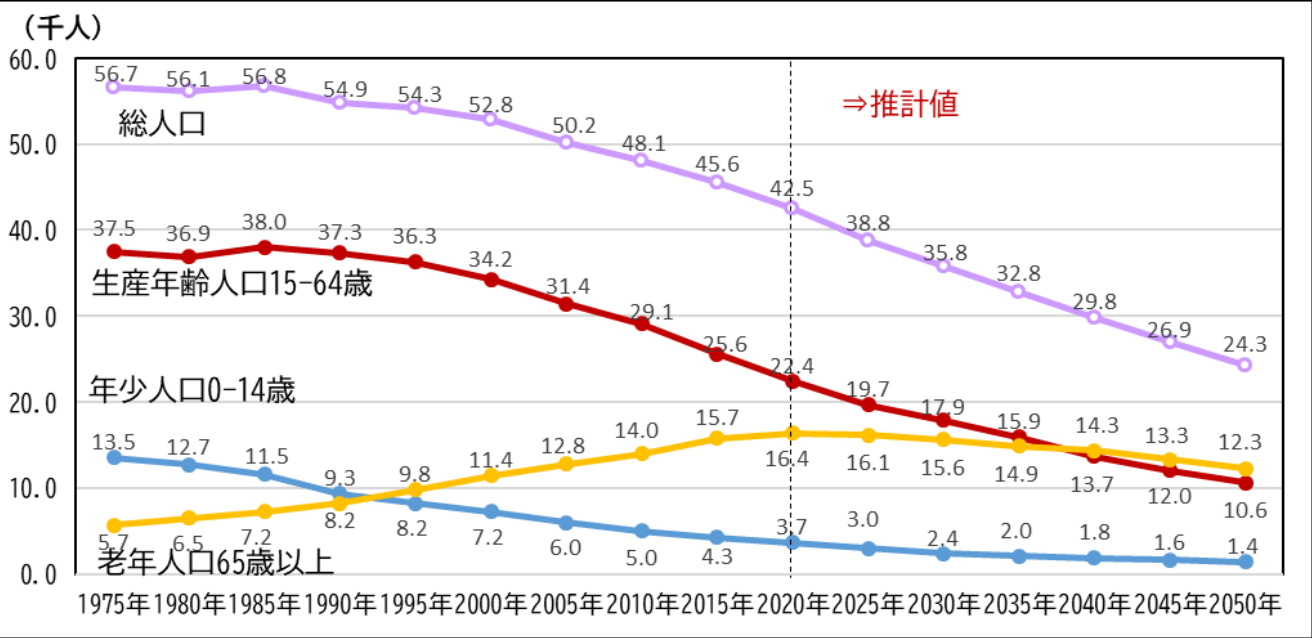


人口の動向

総人口

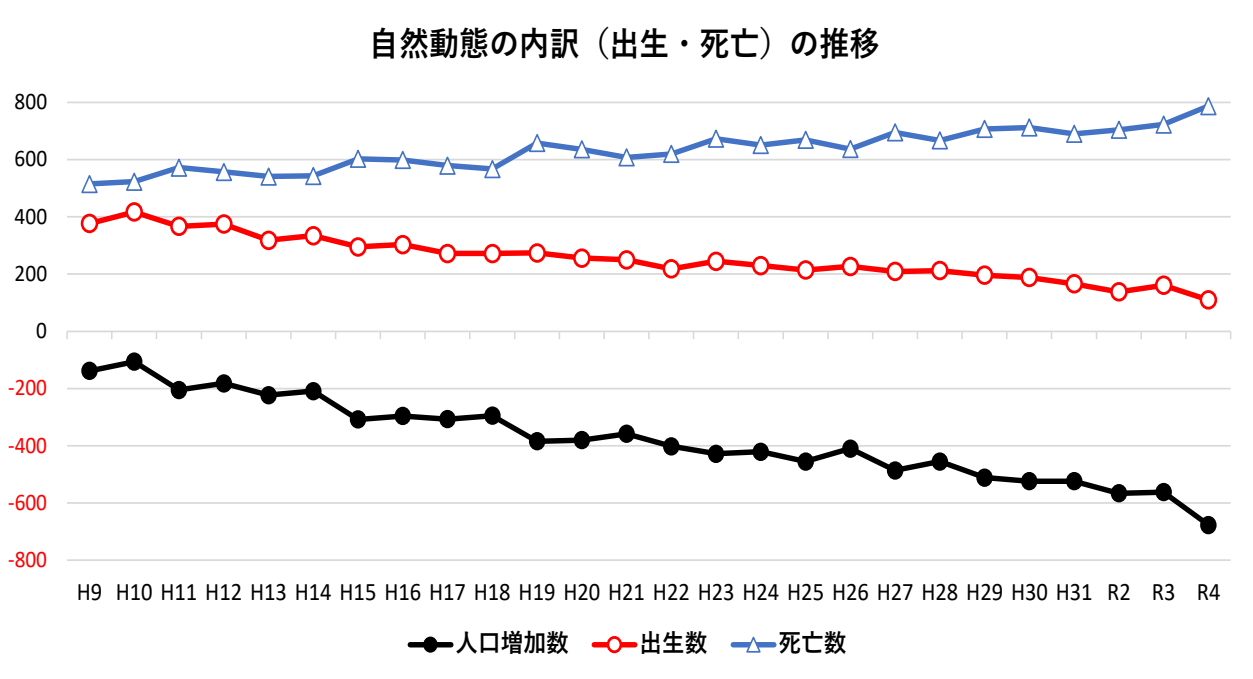
◇昭和 60 年（1985 年）をピークに総人口は減少、年少人口、生産年齢人口共に減少傾向、老年人口は 2020 年をピークに減少するが、2040 年には生産年齢人口を上回ると推計。



出典：2020 年実績値は国勢調査、2025 年以降は国立社会保障・人口問題研究所（社人研）「日本の地域別将来推計人口（令和 5 年推計）」

自然動態

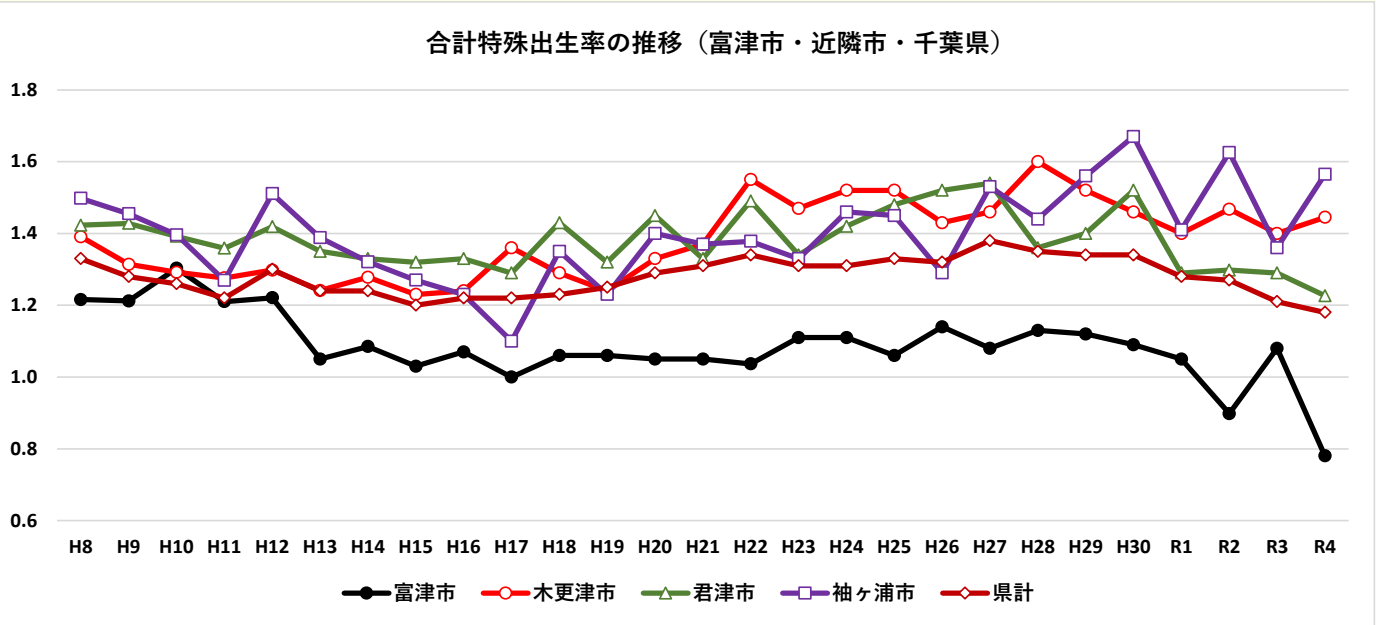
◇出生数減少・死亡数増加に伴い、自然動態は減少傾向。近年減少幅は拡大傾向にある。



出典：令和 2 年国勢調査

富津市人口ビジョンに係る人口動向分析と将来展望について

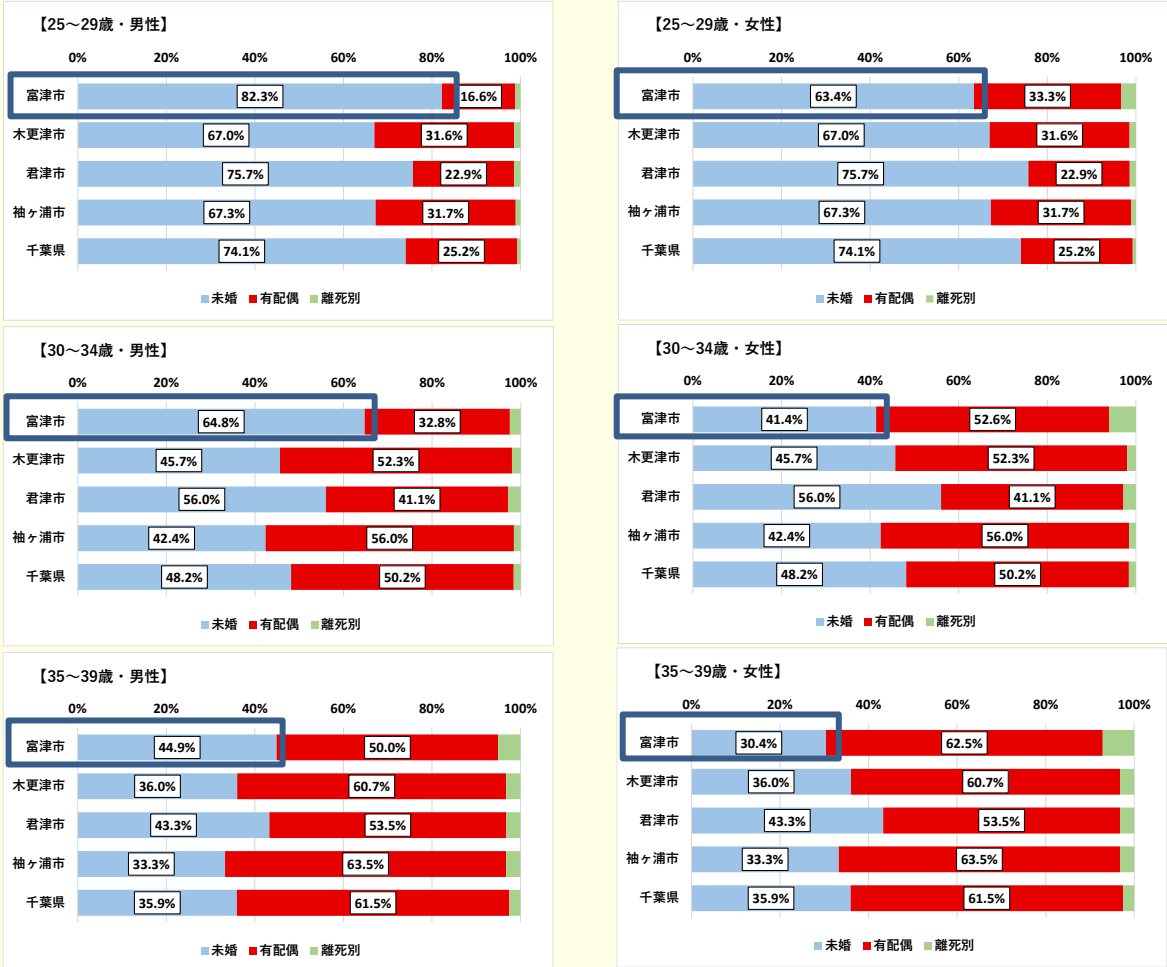
◇合計特殊出生率の推移：富津市の合計特殊出生率は、周辺地域と比較して低い傾向にあり、他市は 1.4 前後で推移しているものの、富津市は 0.8~1.1 前後で推移している。



出典：千葉県各種厚生統計調査

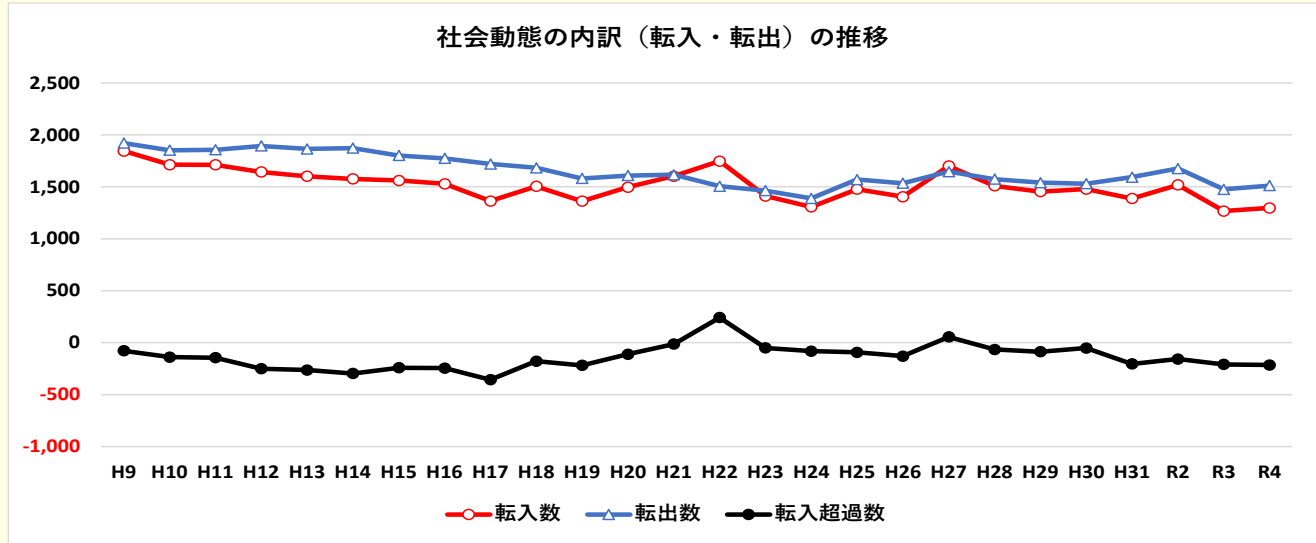
◇近隣自治体・千葉県との配偶関係の年齢階層比較。

配偶関係について近隣自治体や県平均と比較すると、富津市の男性の未婚割合はどの年齢層においても高い傾向にある。女性の未婚割合はどの年齢層においても、県全体より下回っている。



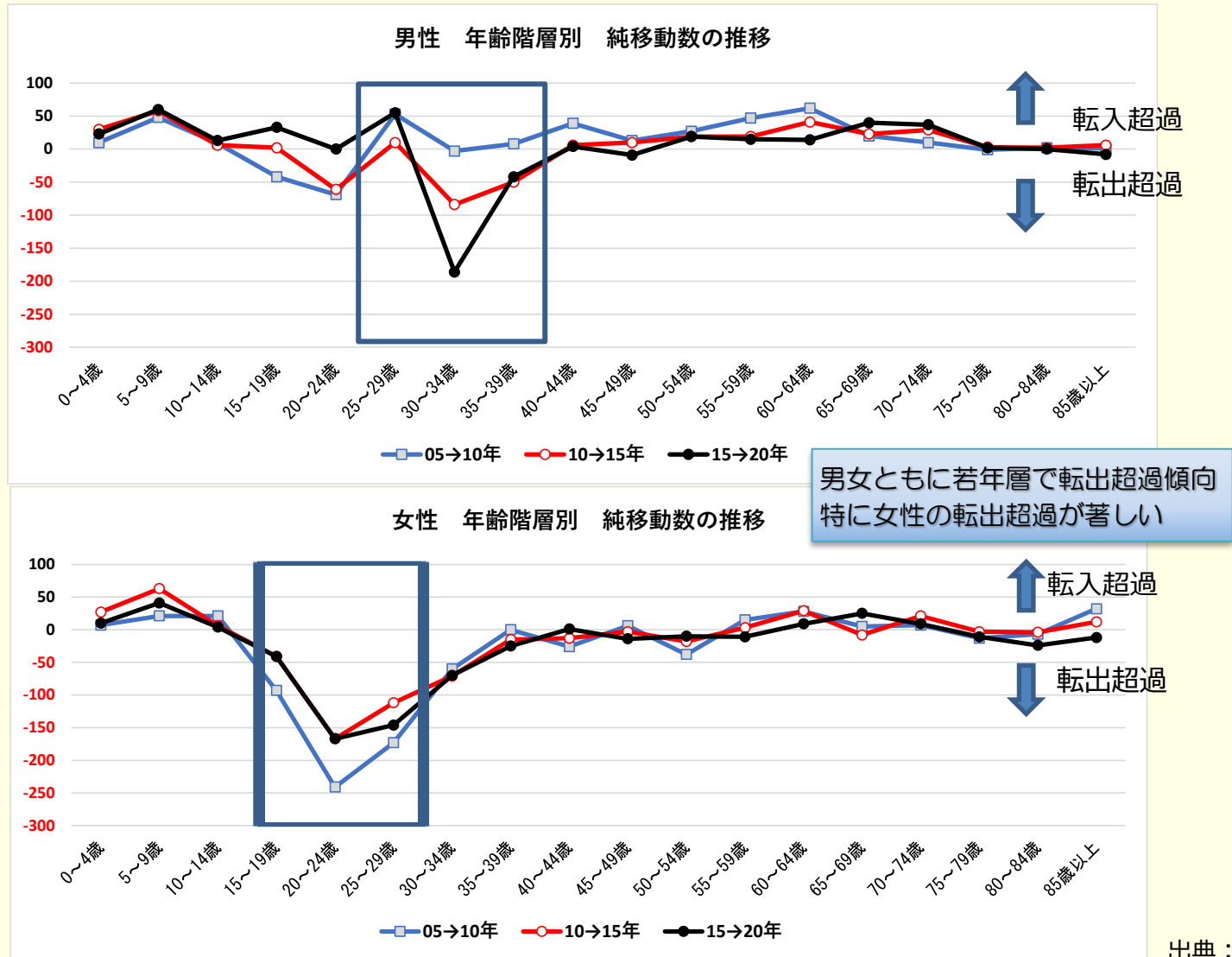
社会動態

◇社会動態の内訳（転入・転出）の推移
長期的に転出超過が続いており、H31 年以降は毎年 200 人前後の転出超過となっている。



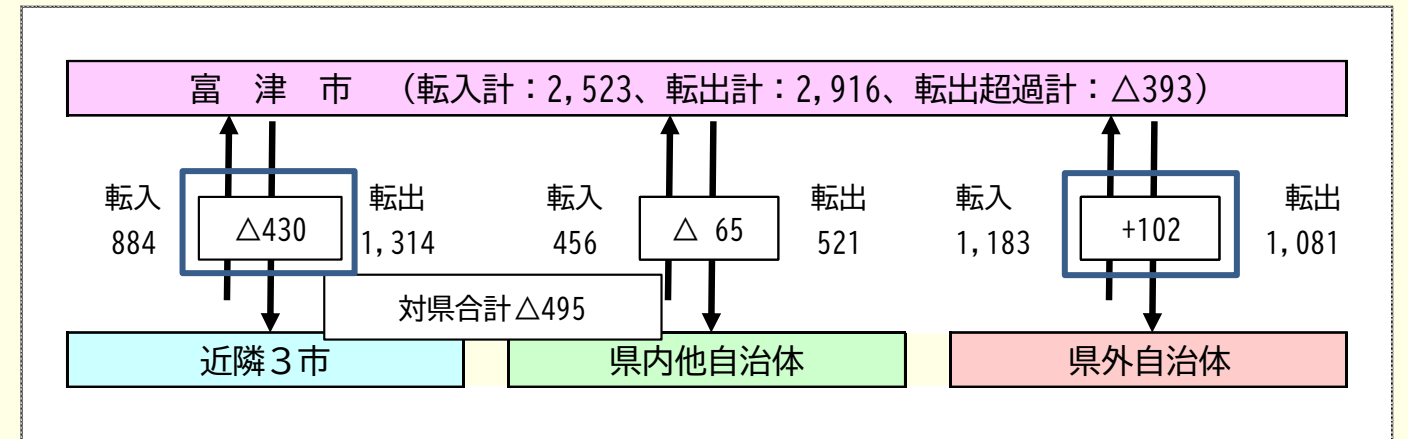
◇年齢階層別の移動数

・男性においては、2005→2010 年、2010→2015 年において 20 代での転出超過があったものの、2015→2020 年においては 20 代が転入超過であり、30 代が転出超過となっている。女性においては、10 代後半から 30 代において転出超過の傾向があり、その傾向に変化はない。

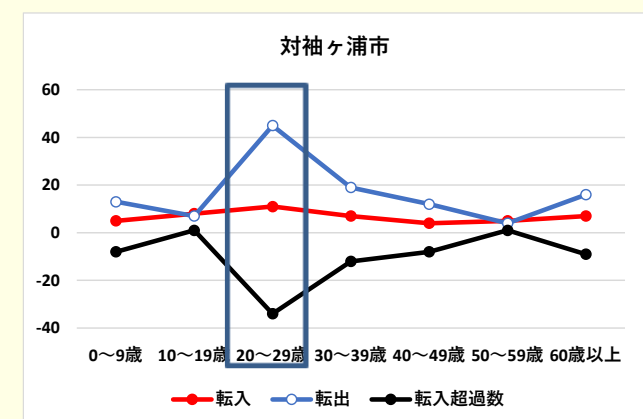
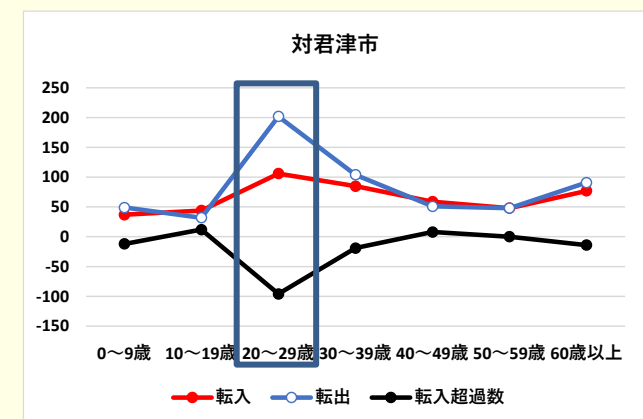
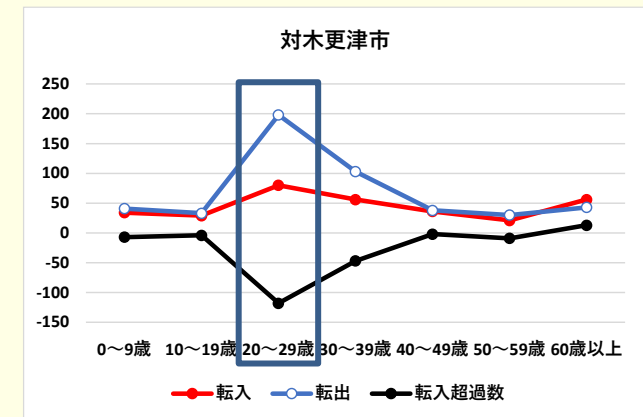


◇地域間の移動（令和 3・4 年計）

・近隣 3 市への転出超過が大きく、県外自治体では転入超過である。



・年齢階層別の近隣自治体へ移動数は、20 代での転出が大きい傾向が見られる。



出典：国勢調査

□人口の将来展望

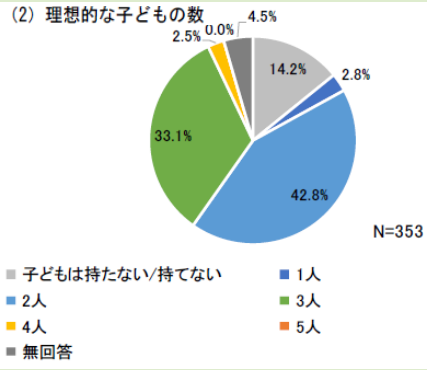
◇市独自推計の将来仮定値の設定

	社人研推計準拠	市独自推計	
	将来仮定値	将来仮定値	算出方法
出生率	社人研の将来値を採用	1.65 (2050年に1.65になるように設定)	・R5年度のアンケート結果より算出
出生性比	社人研の将来値を採用 (全国推計値と同じ)	社人研の将来値を採用 (全国推計値と同じ)	・全国推計値を採用
移動率	社人研の将来値を採用	国勢調査の移動人口より2か年分の移動率の平均を採用	-
転入促進	-	国勢調査の移動人口の転入数をベースに15%増加	・R5年度のアンケート結果より算出
転出抑制	-	20歳代、30歳代の転出を5年ごとに10%ずつ抑制できた場合を想定	・市民アンケート結果より算出
生残率	社人研の将来値を採用	社人研の将来値を採用	・社人研将来値を採用

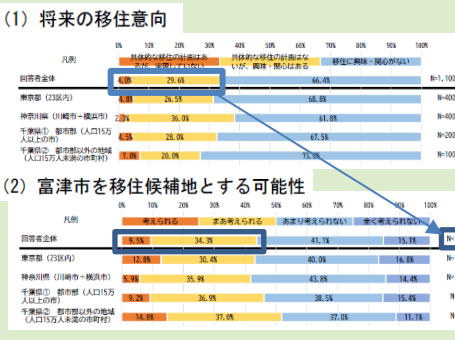
◇市独自推計の将来仮定値の設定の算出根拠

出生率
富津市「令和5年度 総合戦略に係る市民アンケート調査結果」より、富津市の希望出生率は以下の通り算出した。

希望出生率＝（既婚者の割合×既婚者の理想の子ども数＋独身者の割合×独身者の理想の子ども数）×離死別再婚の影響＝
 $(30.1\% \times 2.35 + 69.9\% \times 1.43) \times 0.966$
＝1.65



転入促進
富津市「令和5年度 総合戦略に係る首都圏居住者向け WEB アンケート調査」より、富津市が移住先として可能性があると回答した人は、全体 1,100 名に対して、162 名と約 15% (14.7%) を占めることより設定した。
 $1,100 \text{ 名} \times (4.0\% + 29.6\%) = 370 \text{ 名}$
 $370 \text{ 名} \times (9.5\% + 34.3\%) = 162 \text{ 名}$



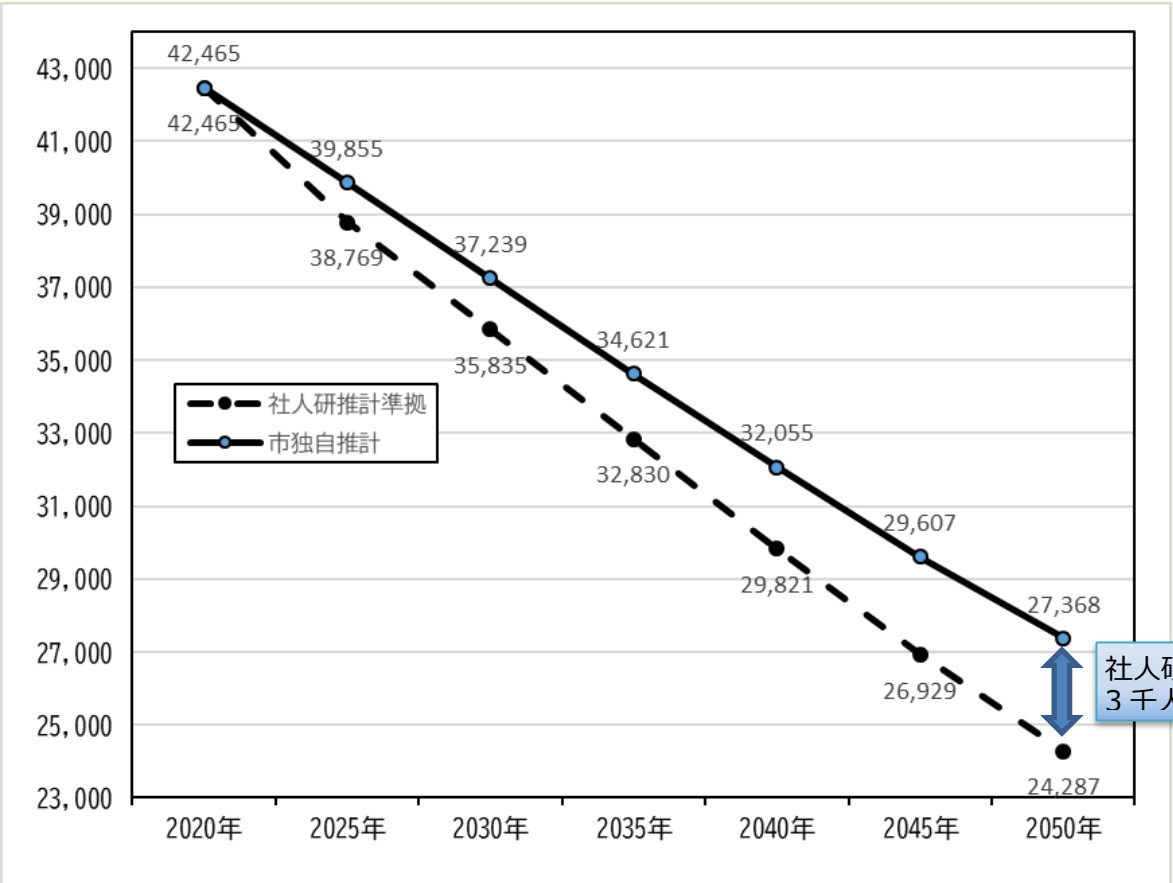
転出抑制
過去4回における市民アンケートより、富津市への定住意向について年代別の推移では、30歳代はH27～R5年にかけて10ポイント程度富津市への定住意向が向上しており、20歳代もR3～R5にかけては10ポイント程度定住意向が向上しており、転出超過である若い世代の20歳代、30歳代の5年ごとに10%ずつ抑制すると設定した。

表 富津市への定住意向 (%)

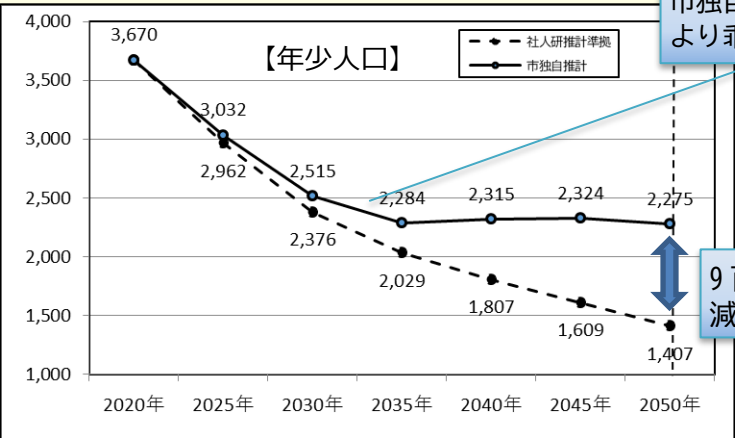
調査年次	H27.8月調査	H31.3月調査	R3.9月調査	R5調査
調査名	富津市市民意識調査	市民アンケート調査	富津市市民意識調査	富津市市民意識調査
10・20歳代	61.2	61.5	54.3	58.2
30歳代	-	59.3	52.2	45.0
40歳代	-	62.8	56.3	65.7
50歳代	73.7	79.5	75.4	84.1
60歳以上	76.5	69.9	83.9	76.8
	85.4	83.3	79.3	85.2
	92.1	88.9	92.2	90.4

◇市独自推計の人口推移

出生率を上昇させ、転入促進や転出抑制の施策を想定することで、2050年には社人研推計準拠より3千人減少を抑制し、2050年の将来人口を27千人と想定。

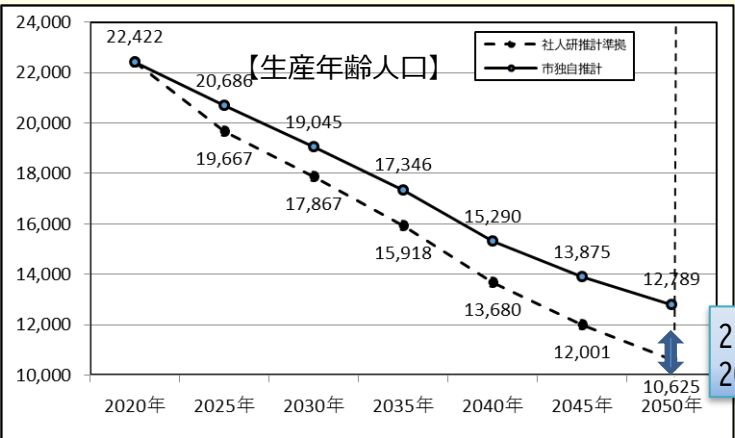


◇年齢3区分人口の推移



市独自推計は2035年より社人研推計準拠より乖離した傾向（横ばい）

9百人減少を抑制



2千人減少を抑制
2050年でも生産年齢人口は老年人口を上回っている

